

2013年度の主な事業報告書 (2013年4月1日～2014年3月31日)

■ 事業実施の概要について

箕面の山麓保全を推進する中間支援組織であるNPO法人として、公益信託「みのお山麓保全ファンド」創設10年を契機に、さらなる山麓保全活動の発展・継承を目的として、事務所を阪急箕面駅前に移転するなど、中間支援組織としての機能強化につとめました。

また、10周年を記念して「山麓保全活動の歩みを振り返り今後の活動を発展させる」イベントを、市民・行政・山林所有者、山麓保全ファンド関係者など83人が参加して盛大に行いました。



<事務所を移転・拡充>



<10周年記念イベント>

中核事業である「山林所有者との関わり強化」や「資金の循環の仕組みづくり」の他、「対話と協働のネットワーク構築」などを中心に、「情報の共有化とPR・広報活動」や「人材・組織の育成」「ナラ枯れ被害の防止」にも精力的に取り組みました。

あわせて、受託事業である箕面ビジターセンターの自然解説業務では、自然解説員の配置や自然観察会の実施、自然情報誌の発行や展示室の企画などを着実に行いました。

■ 中核となる事業について

1. 山林所有者との関わりについて

公益信託「みのお山麓保全ファンド」の助成PRや個別相談などを行い、山林整備サポート件数は、31件となり前年より3件増えました。

2. 資金の循環の仕組みづくりについて

2013年度(13年4月～14年3月)の募金額は707千円、「箕面の森の守りびと」(山麓ファンドサポート会員)は131名となりました。

3. 対話と協働のネットワーク構築について

「明治の森箕面自然休養林」(国有林)では、市民団体が中心となり、国、府、箕面市などの行政委員と対話と協働を前提として、年7回の例会を開催した他、「シカによる食害防止」など多彩な活動を行いました。

■ 外部環境の変化について

1. 「公益信託」を活用した山麓保全活動の継続

04年度に箕面市が2億円を信託して始まった「山麓保全ファンド」の残高、13年度末には約34百万円となり、15年度末には枯渇するために財源問題が課題となっています。山麓保全活動の継続のためには、箕面市を中心とした課題解決の対応が求められています。

2. 被害が拡大する「シカの食害」と「ナラ枯れ」

近年、箕面の森でもニホンジカの頭数増による森林の下層植生の衰退が顕著となっています。あわせて「ナラ枯れ」被害も徐々に増えており、森林の持つ公益的で多様な機能が損なわれる危険性があり、行政(国・府・市)と連携した広域的な対策実施が急務となっています。

■ 個別の事業の実施状況

1. 広報事業(情報の共有化とPR・広報強化の事業)

(インターネットを利用した広報)

1-1 ホームページ(山なみネット)による広報強化、及び情報公開

・前年度の「山なみネット」の刷新に引き続き、「みのお森の学校」「みのお山麓保全ファンド」などのページをリニューアルするとともに、「箕面ビジターセンター」や「みのお森の学校」などの小見出しがトップページに見えるように改善しました。

- ・精力的に「ブログ」に記事掲載（年174回）を行い、イベントカレンダーを更新するなどタイムリーな情報発信につとめました。
- ・NPO法人コミュニティリンクとWordPressのバックアップなどのサポート契約を始めました。

（紙媒体などによる広報）

1-2 全世帯向け広報

- ・箕面市の全世帯向け広報紙「もみじだより」2月号に、「山麓ファンド」の1ページ広告掲載を行い、山林所有者や市民団体への活動支援、ファンドへの募金などを広報しました。

1-3 ニュースレターの発行

- ・広く山麓保全の情報発信を図るために、ニュースレター「みのお山なみ通信」を年4回（4・7・10・1月）発行しました。
- ・箕面ビジターセンターだよりも、同様に年4回発行し、その他のイベントチラシなどとあわせてNPO山麓委員会会員や「箕面の森の守りびと」山麓ファンドサポート会員などに発送しました。

（イベントを通じた広報）

1-4 イベントの開催・出展

- ・山とみどりの市民イベント（10月箕面）を開催するとともに、「箕面の森の音楽会」などの機会を捉えて、山麓保全活動の紹介や山麓ファンドへの募金活動を行いました。
- ・「みんなで守ろう！みのおのもみじ」をテーマとして、箕面公園管理事務所と協働で「箕面の森の守りびとの集い」を年2回（4月・7月）行いました。

2. 山麓保全交流事業（情報の共有化と意見交換による活動の場づくり事業）

2-1 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会の活動

- ・同協議会（国、府、市、森林総研等の行政委員と11の市民団体で構成）では、NPO山麓委員会が事務局を担い、年7回の例会を開催しました。
- ・対話と協働の仕組みの中で、行政、市民団体の意見交換や情報の共有化を図りながら、清水谷防鹿ネットの補修や植生調査、「箕面の森の案内板」の補修、「ナラ枯れ」被害防止対策の他定点カメラの設置などによる「シカによる食害」防止など多彩な活動を行いました。

2-2 箕面公園（府営）での活動

「もみじの再生」のためのイベントを年2回（4月と7月）行いました。4月は「もみじの新芽」を来園者の家族で移植してもらい、7月は箕面まつりの夕方、昆虫館前で「小さな森の音楽会」を行い、ナラ枯れ被害の防止活動などをPRしました。

3. 山林所有者関連事業（山林所有者との関わり強化事業）

3-1 山林所有者への対応

- ・山林所有者による山の手入れの活動に対する公益信託「みのお山麓保全ファンド」による助成は2013年度（2・8月期）、70件6,567,300円でした。
- ・自然緑地の新規同意は、2014年度2月期の1件でした。（1,983㎡）

3-2 山林整備サポーターの派遣

- ・高齢化が進む山林所有者に代わって山の手入れを行う「ボランティア派遣」は、31件の所有者から要請があり（前年より3件増加）、計35日、のべ298人のボランティアが山の手入れの活動を11月から3月の冬の期間に行いました。
- ・2014年度2月期には、26件（新規2件）の「ボランティア派遣」の要請がありました。

4. 「山麓ファンド」への募金活動（人と資金の循環の仕組みづくり事業）

- ・13年度（13年4月～14年3月）の募金額は、目標100万円に対して707,324円でした。（箕面市へのふるさと寄附金8,2000円を含む）。
- ・「箕面の森の守りびと」（山麓ファンドサポート会員）は131名（前年より23名増）となりました。「箕面の森の守りびと」に、年4回「山なみ通信」などの情報誌を送りました。
- ・「阪急阪神未来のゆめ・まちプロジェクト」から、箕面の紅葉の保全と再生を目的に募金をいただいた他、募金付き自動販売機、募金箱、市民イベントなどで募金をいただきました。
- ・箕面滝道にある大阪観光櫺の建物に、募金付きの自動販売機を4台設置していただきました。

5. 人材&活動組織の育成事業

5-1 「みのお森の学校」の開催による里山管理の人材育成

- ・里山管理の入門講座として、第9期「森の学校」（5日間の講義と実習）を実行委員会方式で開催し10人が受講しました。（9年間で、計146人）

5-2 「山麓学習（箕面の自然学習）」を担える人材の育成

- ・山麓学習部会の活動として、小学校の授業のお手伝いをするスクールインタープリター養成入門講座（1日間の講義・実習）を6月に行い、4人が参加・修了しました。
- ・学校での活動15回（小学1・2年、中学1～3年）対象に参加延べ480人、ボランティア参加延べ75名が参加しました。

5-3 「箕面の森林セラピー」の研究と人材育成

- ・森林の機能を活用した「こころとからだの健康増進」を目的とした「森林セラピー」研究として毎月、研究会や研修会を開催した他、マンスリーセラピーとして計25人が参加されました。
- ・森のセラピーアシスター養成講座（5日間の講義・実習と試験）を行い、11名が参加しました。

5-4 新たな市民ボランティア組織の立ち上げ支援

- ・新規の活動助成は、定点カメラを利用した森の動物調査隊活動の1件でした。（2014年2月期助成）

6. 企画及び調査・研究事業

6-1 生物多様性の確保に向けて

- ・「ナラ枯れ」対策地での「シカの食害」防止・植生回復のためのネット設置をオヶ原で行うなど明治の森箕面自然休養林管理運営協議会と連携して生物多様性の保全に向けた活動を行いました。
- ・年12回「みのお生きもの会議」を開き、「たんぼぼやホタル調査」の他、生物多様性の保全のための計画づくりに着手しました。

6-2 「ナラ枯れ」防止対策

- ・「ナラ枯れ」被害防止P/Tとして、行政（箕面市・国・府など）との情報の共有化と協働の取り組みにより、市民の役割としての早期発見や応急的な処置を中心に精力的な活動を行い、一定の「ナラ枯れ」被害防止の成果が得られました。*2013年4月～2014年3月期間で延べ255人/日の活動

7. 「山麓ファンド」助成事務サポート事業

7-1 助成申請の受付や活動促進など

- ・「山麓ファンド」の助成申請の広報、申請書の配布と受付、申請の相談などの山麓ファンド助成サポート事務を行いました。
- ・施設整備などハード事業を対象とした「特別助成」の活動を促進し、2013年8月期に大阪観光株による「箕面滝道既存建物の修景整備と建屋改修事業」、及び箕面商工会議所による「大日駐車場周辺の案内サイン設置事業」の2事業が助成採用されました。大阪観光株の事業は総事業費570万円の内50%助成、箕面商工会議所の事業は総事業費724,500円の内75%助成により、2013年の冬季に施工され、工事完了を確認しました。

7-2 助成事業の支援や進捗確認など

- ・「山麓ファンド」の助成を受けた団体や山林所有者などの活動支援や進捗確認などを行いました。

7-3 公益信託みのお山麓保全ファンドの検証について

- ・「山麓ファンド」10周年にあたり、活動の現状と将来についての記念イベントを行い、課題の明確化と一定の取り組み方針の明確化を図りました。

8. 箕面ビジターセンター自然解説事業

8-1 自然解説活動

- ・土日・祝日を中心として8月・11月の平日を含めた年171人日の自然解説員の派遣、年31回の自然観察会の開催、年4回の自然情報誌「箕面ビジターセンターだより」の発行、キノコの特集号の発行（各2000部）、及び季節に応じた展示室の「企画展示」などを、施設管理者や行政との協働の中で着実にを行いました。

8-2 企画活動、PR・広報活動

- ・年9回の「友の会」（企画会議）の開催により、意思決定と計画実行を図り、ビジターに喜んでいただける自然解説活動につとめました。
- ・ホームページ「山なみネット」箕面ビジターセンターのイベント情報やブログ掲載など、情報発信や活動紹介を活発に行いました。